

朝霞市市民意識調査結果をお知らせします！

市の市政運営の指針である「第4次朝霞市総合振興計画」は、「基本構想」・「基本計画（前期と後期に分けて策定）」・「実施計画」の三層によって構成されています。

市では、現在、「前期基本計画」が平成22年度で終わることから、平成23年度から平成27年度までの「後期基本計画」の策定を進めており、その基礎資料とするため、今年3月に市民意識調査を行いました。

このたび、調査結果がまとまりましたので、その概要をお知らせします。

今回の調査にあたり、ご協力いただいた皆さんに厚くお礼申し上げます。

問／政策企画室 内2312 ☎463-3089

調査の概要

今回の意識調査では、「住みよさ」、「定住意向」、「市民の施策満足度・重要度」、「重点施策」、「コミュニティ活動」などについて伺いました。

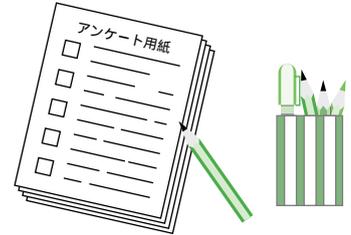
調査方法および各項目の調査結果については以下のとおりです。

調査対象／市内居住の18歳以上の男女

標本数／2,980票（宛先不明（20票）を含む、総発送数は3,000票）

有効回収数／1,136票

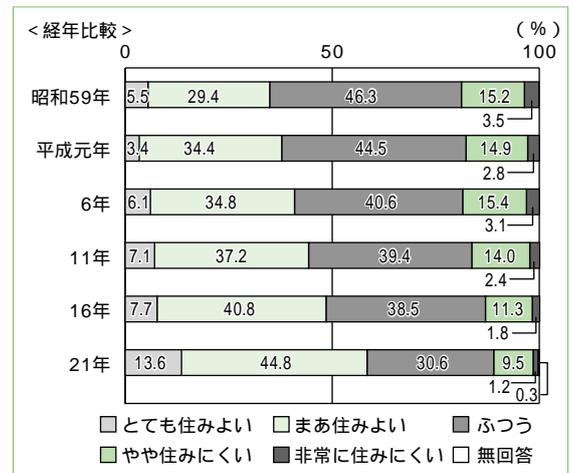
有効回収率／38.1%



住みよさ

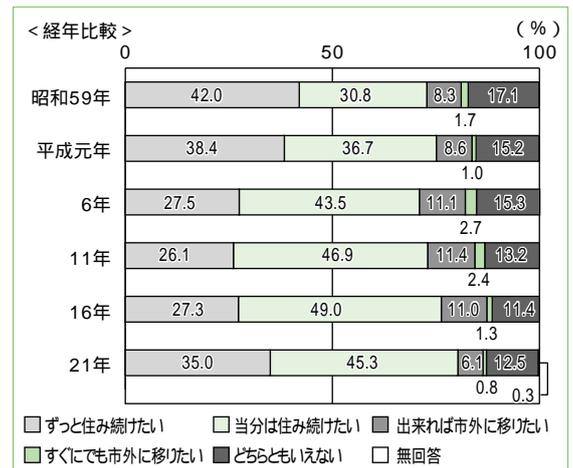
朝霞市の住環境の評価については、「とても住みよい」、「まあ住みよい」が増加傾向にあり、今回の調査ではじめて両者を合計した“住みよい”と考える割合が半数を超えました。

一方、「やや住みにくい」、「非常に住みにくい」を合わせて“住みにくい”と考える割合は1割程度であり、朝霞市はおおむね住みやすいと評価されていると考えられます。



定住意向

朝霞市への定住意向については、「ずっと住み続けたい」、「当分は住み続けたい」を合わせて“住み続けたい”が80.3%となっています。一方、「出来れば市外に移りたい」、「すぐにも市外に移りたい」を合わせて“市外に移りたい”が6.9%であり、市民の定住意向は高いと考えられます。

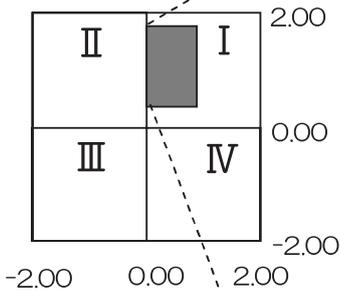


市民の施策満足度・重要度

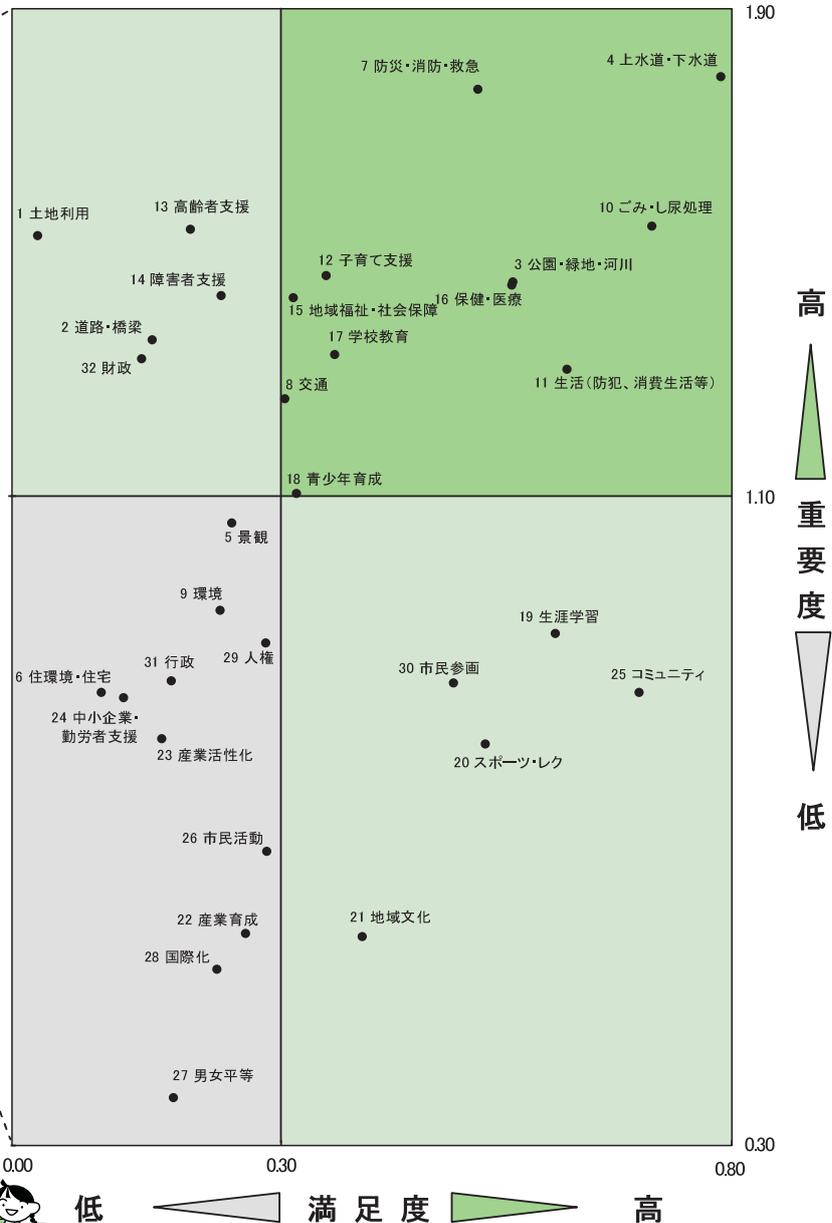
市の施策である32項目を相対的にみて、満足度と重要度を図で表しました。

なお、左側の図のⅠが「満足度・重要度とも高い」、Ⅱが「満足度は低いが重要度は高い」、Ⅲが「満足度・重要度とも低い」、Ⅳが「満足度は高いが重要度は低い」となりますが、今回の調査では、満足度・重要度ともすべてプラスの評価でした。

満足度と重要度の相関図



※「満足度」、「重要度」は、それぞれ2点を満点、-2点を最低点として計算しています。
 (例) 右側の図の右上「4 上水道・下水道」は、「満足度」0.788、「重要度」1.615となっているので、この位置になります。
 ※右側の図中、満足度の0.30、重要度の1.10は、それぞれ中間値です。
 ※右側の図は、上の図の網掛けの部分拡大したものです。



重点施策

32項目のうち重点的に取り組んで欲しい施策は、「高齢者支援」、「防災・消防・救急」、「子育て支援」、「土地利用」、「保健・医療」、「財政」、「上水道・下水道」などでした。



コミュニティ活動

「積極的に参加している」の状況をみると、多い順に、「自治会・町内会」(13.2%)「ボランティア」(13.0%)、「祭など地域行事」(10.8%)となっています。

意識調査結果の詳細については、

市ホームページや市政情報コーナー、図書館、公民館などでご覧いただけます。

なお、市民意識調査と同時に「中学生・高校生アンケート」も実施していますので、併せてご覧ください。

	0					50					100					(%)					
ア 自治会・町内会	13.2					37.9					13.6					32.2					3.1
イ ボランティア	13.0	12.9									32.0					38.5					3.6
ウ 子ども会・老人クラブ	5.7	7.4									29.1					53.4					4.3
エ 趣味の活動	6.3	5.1									33.4					50.6					4.7
オ スポーツ・レク	10.4	4.7									35.4					45.9					3.7
カ 祭など地域行事	10.8	9.7									34.2					41.3					4.0

積極的に参加している 加入しているが活動はしていない
 加入していないが参加したい 加入していないし参加するつもりもない
 無回答